

新潟市暮らしの点検・評価アドバイザー会議におけるご意見への対応等

事業名：事業系ごみ減量化事業

No.	ご意見	対応等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 R 優良事業所の取り組みについて、区役所など様々なところで広報していただきたい。 ・ 3 R 優良事業について、トップカンパニーとパートナーカンパニーの違いやステッカーとプレートの違いがよくわからないので、継続的に広報活動をしていってごみが減っていくとよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでも、環境関係のイベントや出前講座などで制度の周知を行ってきましたが、これまで以上に制度の周知や事業者の取り組みを伝えることができるよう広報していきます。
2	<p>ごみステーションに出される缶や瓶の量が以前に比べてかなり減ってきている。それはスーパー等の事業所へ持ち込んでいるためだと考えられるので、そのような事業所をどんどん宣伝していけばよいと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に 3 R に取り組んでいる事業者については、3 R 優良事業者認定制度でしっかり顕彰し、その取り組みを広報していきます。
3	<p>不用品回収業者について、どの業者が違法業者なのかわからない。調べたり市に聞いたりできる人は限られているのでわかりやすく周知していただきたい。</p>	<p>家庭ごみ収集カレンダー、チラシ等で市の「一般廃棄物収集運搬許可業者」を分かりやすく周知するよう努めます。</p>
4	<p>循環型社会をみんなで作っていきましょうということについて、広報活動・広報啓発活動と教育をしていく必要がある。既に取り組んでいると思うが、さらに取り組みを強化していただきたい。一人一人がそういう意識を持って生きていくということがとても重要だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでも、未就学児や小学校低学年、小学校 4 年生、一般の市民の方を対象とした出前講座のほか環境関係のイベントなどでも 3 R の取り組みについて周知・啓発を行ってきました。今後も、引き続き、多様な機会をとらえて啓発活動を行っていきます。
5	<p>若い人に知ってもらうために税金等の通知書にごみ分別アプリの QR コードを付けて送ると、会社を通じて若い層にも周知徹底できると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ分別アプリについては、大学や専門学校の新入学生を対象にお知らせしているほか、環境関係のイベントなどでチラシを配布し周知に努めてきました。今後も、効果的な周知となるよう検討していきます。

6	新潟市が事業所としてごみ削減に取り組んでいることをPRして一緒に取り組んでいく姿勢を表していくとより良い。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課にいただいた意見を伝え、事業所としての取組みを発信できるよう検討していきたいと思います。
7	紙の削減について、自治会あての文書を配布と回覧との仕分けを細かくしていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課にいただいた意見を伝えます。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化だけでなく、子どもたちが食べ残しをしないように働きかけをしていただきたい。教育現場だけでなく、周りからも働きかけをしていったほうが教育効果が高まると思う。 ・学校給食の食べ残しに関して、給食の内容は栄養士がバランスを考えて提供していると思うが、栄養への配慮が中心となっているのではないか。今の子ども達は舌が肥えているので、見た目、味が重要。残さない給食を作るために、子ども達の試食会を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課にいただいた意見を伝えます。 ・現在策定中の第3次新潟市食育推進計画において、「食べ物を無駄にしないよう行動している市民の割合」を指標に設定する方向で検討しています。環境と調和のとれた食生活が実現するようさまざまな方法で情報発信をしていきます。